



DOZINE

Re:Born

～同人誌からファッション雑誌『GARY』へのリブランディング戦略～

東海大学文化社会学部広報メディア学科3年 DOZINEプロジェクト所属
遠藤 愛実/尾松 舞香

目次

- 01 | 自己紹介
- 02 | THEME 「RE : BORN」
- 03 | DOZINEの歴史と存続の危機
- 04 | 実績紹介
- 05 | 組織の改編
- 06 | これからDOZINE



01

自己紹介



Omatsu

Maika

尾松 舞香

2004年6月4日生まれ

出身校：東海大学文化社会学部
広報メディア学科 3年

出身地：千葉県柏市

趣味：牛タン屋巡り





Endo Manami

遠藤愛実

2004年11月27日生まれ

出身校：東海大学文化社会学部
広報メディア学科 3年

出身地：千葉県袖ヶ浦市

趣味：エアコンの室外機を見る





Seki Yumena

関 夢波

2006年10月20日生まれ

出身校：東海大学文化社会学部
広報メディア学科 1年

出身地：静岡県松崎町

趣味：スポーツ観戦



学科メディアプロジェクトとは

広報メディア学科の多くの学生がメディアプロジェクトに参加して情報発信を行っています。

- テレビ班：SCNを中心に全国各地のケーブルテレビで放送中！
- ラジオ班：湘南ナパサから毎週火曜日20時から放送中！
- 広報班：地方企業との連携しながら、広報を担当！
- ファッション誌制作の「DOZINE」

02

THEME 「RE : BORN」



THEME 「RE:BORN」

- ・ メンバー1人で存続の危機にあった「DOZINE」を、ファッション雑誌『GARY』へとリブランディングした経緯報告
- ・ 急激な組織拡大（2名→40名超）による失敗と、それを乗り越えるための「新体制（戦略的解決策）」の提示
- ・ 東海大学生の意識を「我流（GARY）」で変えていくというビジョンの共有

03

DOZINEの歴史と存続の危機



DOZINEの歴史と存続の危機



元々DOZINEとは
主に文学フリマで活動する「同人誌」プロジェクト

DOZINEの設立は2011年
初号出版が2012年
自分の好きなテーマで毎回取材を行い、執筆していた。

しかし、2024年に窮地に陥る

メンバーは4年生1人のみに



紙媒体を残したい！

なぜ「Fashion」なのか

必要性

ファッションは単なる外見の装いではなく、自分自身と向き合い、自信を持つための「自己表現の第一歩」

メディアの役割

意識が外に向きにくいキャンパス環境において、
視覚的に訴えかけるファッション誌こそが、
学生の日常に刺激を与える最適なツールである

東海大学生はどんな学生が多い？

1

部活動が盛んに行われている
→ジャージを着ている人が多い

2

周りに商業施設がなく、学校終わりに出かけることが少ない
→適当な服装を着たひとが多い

3

一人暮らしをしている学生が多い
→ダル着（わざとだらしなく見せる今トレンドのスタイル）
にノーメイクの人が多い



『GARY』を創刊する意味

ファッションにあまり関心のない現状を打破する方法がないかを模索...

→自分たちがファッション雑誌を作れば、何か少しでも意識を変えることができるのではないかと思い立つ

コンセプト：「我流 (GARY) 」

専門知識がなくても、見よう見まねでも、自分の意志で表現を形にする姿勢

共感の創出

>>> プロのモデルではない「等身大の東海大生」を掲載することで、自分事として捉えられる情報を届ける

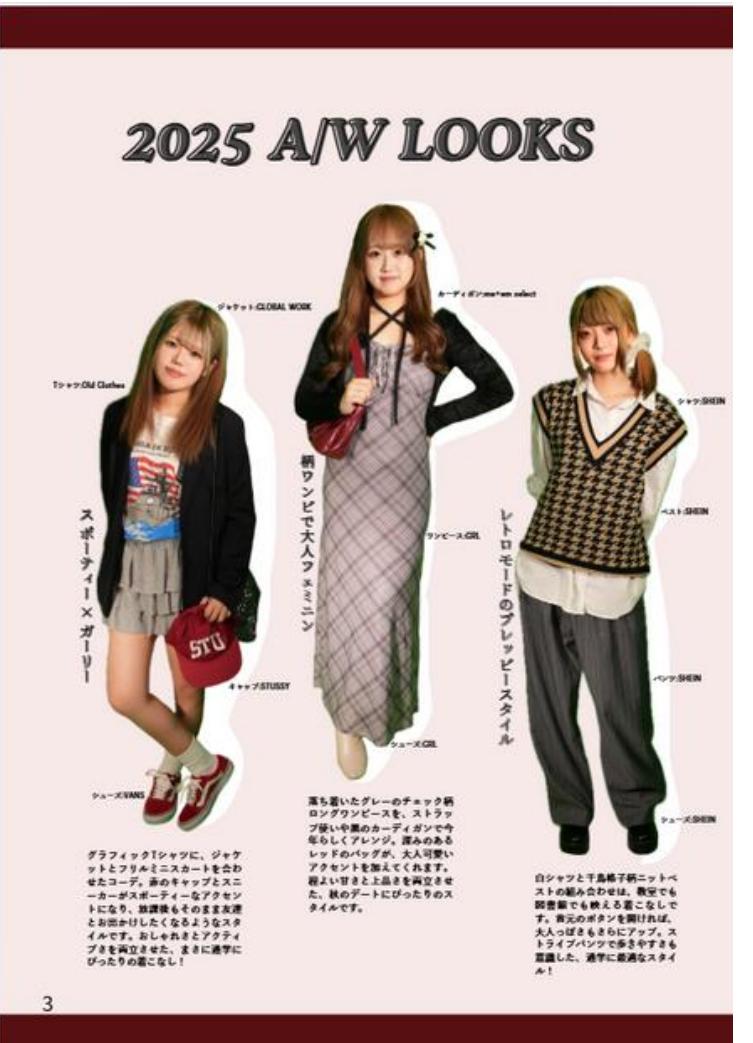
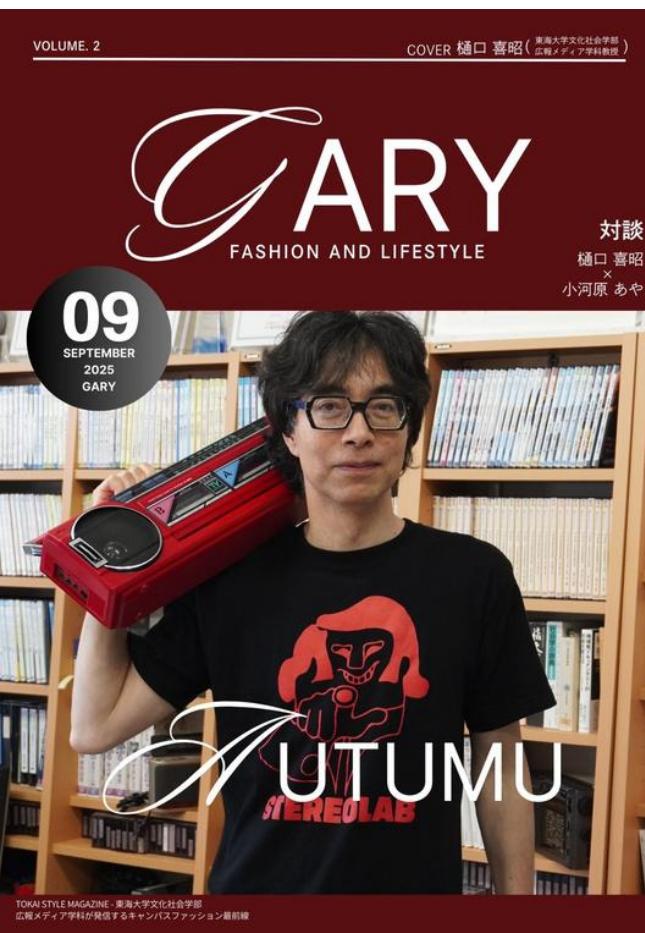
04

実績紹介



実績紹介

2号



実績

『GARY』1号（新入生特別号）
2025年4月 250部発行

↓
『GARY』2号（秋号）
2026年2月 400部発行予定

秋冬ファッショントピック、学生アンケート
教授インタビューなど…

↓
『GARY』3号（春号）
2026年4月 500部発行予定



05

組織の改編

組織拡大の壁

想定外の事態：運営2名に対し、新入生を含む加入希望者が殺到し
メンバーが40名超に急増

管理の限界

2名で全員を
マネジメントできず、
連絡（報連相）が形骸化

質の低下

制作フローが不明確
なまま個別作業に
陥り、誤字脱字や
校閲不足が露呈

志の乖離

「オシャレな活動」
というイメージ先行で
入り、現実の作業との
ギャップで離脱者が続出

組織の再定義と精銳化

- **意思確認の実施**

全員の志を再確認し、共に走れる18名へ組織をスリム化（少数精銳体制）

- **責任の明確化**

チーム作業から「個人またはペア作業」へ切り替え、一人ひとりの役割を強調

- **ルールの共有**

連絡の徹底や活動時間の固定化（月曜1時間）により、組織としての規律を再構築

制作フロー



最初に自分がどんな風に
イメージしているかを
可視化する

ラフ案が完成後、
上級生がチェック
→ ラフ案に赤入れ後、
再度自分自身で
ブラッシュアップさせる

②の工程終了後、
ラフ案からPCに
書き起こす作業開始

制作フロー

04

④初稿



写真やイラスト、
文章を組み入れた
デザイン案を提出。
→上級生がフィード
バックを行う

05

⑤校閲・校了



すべての作業が終了後、
第三者に誤植等がないか、
校閲を依頼する

06

⑥完成



すべてのページが
揃い次第、
入稿→納品



06

これから の DOZINE



これからのDOZINE

・ 次なる挑戦

クオリティを高めた『GARY』No. 3 の制作

・ ビジョン

ファッションを通じて、学生一人ひとりが自分らしく
「我流」で輝けるキャンパス文化を創る

・ 約束

過去の失敗を糧に、組織基盤とコンテンツ価値を
両立した持続可能なメディアへ



『GARY』 No.3

- ・現在制作しているコンテンツ

今回は「春号」を制作中！今年の4月に発行予定

新入生に向けた先輩からのメッセージ&広報メディア学科ガイドBOOK

- ・新たなコーナー

広報メディア学科の学生から募集したコラムの掲載が決定！

総勢6名の学生が新入生へエールの言葉を綴っています。

- ・現在の進捗状況

各学生から提出された原稿を推敲しています。



thank you

Arigatou Gozaimasita

東海大学文化社会学部広報メディア学科3年 DOZINEプロジェクト所属
遠藤 愛実/尾松 舞香